

コミュニティ

ふたつ

私と人とまちの間に

2017.SEP
114号

9

編集発行
公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

元気に暮らす、 このまちで暮らす。

- 2 いただきます、ごちそうさま。ふじっこ青空ファームの挑戦
- 4 ポールウォーク、背筋が伸びると明日がみえる。
- 6 あの“感動シーン”が生まれるまでに。
- 8 ご近所まんが くざつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～
- 9 より道こ道 「志津・青地めぐり」
- 10 そのまちに…ICT／事業団からのお知らせ
- 11 かぞえてスッキリ!／Next きみたちの草津／ボイス
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第26回 どちらの「ほっこり」?
読者の声

心を研ぎ澄ます

呼吸が止まる。時間が止まる。今あるのは28m先の的と自分だけ。6秒間の「無」。神経を最高に研ぎ澄ました瞬間、放たれた矢は張りつめた空気を突き破っていきました。まっすぐに、まっすぐに。(草津高校 弓道部)

「虫聞き」とは、秋の夜に野山に出かけて虫の鳴き声を楽しむこと。古来より自然とふれあい四季を楽しむ風流の一つとして、花見・月見・菊見・雪見とともに営まれてきました。マツムシ・スズムシ・コオロギが秋の深まりを伝えてくれます。



いつまでも自分らしく、健康で元気に、このまちで暮らしたい。誰もがそう願っています。

もちろん、健康づくりは一人ひとりの心がけと行動が大切ですが、自分だけでは難しいのもホントのところ。でも、大丈夫。まちにはあなたの健康を見守る目があります。

今回はあなたのココロとカラダの健康を見守っている、そんな「優しいまなざし」をご紹介します。



FEATURE

いただきます、ぐちそうさま。

ふじっこ青空ファームの挑戦

富士産業(株)グループ

8500 560

この2つの数字、何だかわかりますか。
 草津市学校給食センターでは毎日8500食もの給食が作られ、市内の小学校に届けられます。毎日炊き上げるお米はなんと560kg。今日も子どもたちが楽しみに待つ給食を調理するのは富士産業(株)という会社です。食を通じて子どもたちの健康を支えるこの会社の新しい地域貢献の取組み「ふじっこ青空ファーム」が、ちよとユニークです。
 そうそう、子どもたちに人気の給食メニューはカレーと鶏肉の唐揚げだとか。今も昔も変わらぬ王道です。

10%の壁

えつて味も見た目も落ちる。加熱温度や時間を的確に調整しながら、美味しさも追求する。美味しくなければ、結局は食べ残しにつながってしまいます。」と山本さん。
 ます。ここからがなかなか減らない。実は提供側でできることはここまで。あとは子どもたちや各家庭での食に対する知識や意識を変えていく必要があると考えました。つまり食育ですね。」この食育を進めるために始

富士産業が市の小学校給食の調理を始めたのは平成11年。当時の残さい率、つまり子どもたちの食べ残しはかなり多かったとか。「少しでも食べ残しを減らさなくては…」調理過程の見直し、行事食やイベント食などの工夫、調理機器や設備の技術革新、施設の改築も後押しして今では10%にまで減りました。とりわけ調理過程の見直しや衛生管理など、「食の安全」を守る企業ならではの技術と努力を重ねてきました。

「食の安全と美味しさの両立が難しい部分です。たとえば食中毒を出さないためには加熱が必要ですが、でも、しすぎるとか

「残さい率10%…」山本さんが続けます。「ここに壁があり



イメージ▶

めたのが、食育農園「ふじっこ青空ファーム」です。

地域とつくる食育農園

「畑と食卓、生産者と消費者を近づけることで、食の知識やありがたみ、地産地消で旬を食する美味しさを知ってもらいたい」そんな思いが込められた青空ファーム。下笠町には7000㎡の畑が広がります。今日もキャベツ・ジャガイモ・タマネギ・

イメージ▶





ニンジン・サツマイモ・黒枝豆などが大きく育ちます。食育を通して地域に貢献したい畑だから、近くの小学校の児童たちに苗植えと収穫体験をしてもらいます。いずれは、市内の全小学校の子どもたちにも来てもらいたいとか。

子どもたちは土から掘り起こしたばかりのタマネギがもつ、透明感を知り、直にかじった甘味に歓声をあげます。「お米を洗剤で洗った」「魚の絵を描かせたら切り身を描いた」「ジャガイモが土の中でできると知らなかった」。若い世代や子どもたちに対するウソかホントかわ

からないような噂も耳にする中、「ここでの体験を食卓で話題にしてもらいたい。子どもたちから親御さんに話をしてもらいながら、少しずつ食への関心が高まればいいですね」とは食育農園課主任の高田さんの弁です。

思いもよらなかった

実は高田さん、3年前までは同社の役員でした。草津市在住であること、今も変わらぬ愛社精神と面倒見の良さで、定年後に農園の責任者になりました。とはいってもその農業はまったくの素人。「地元農家の方にボランティアとして関わってもらい、少しずつ教えてもらいました。地域の方の協力がなければ到底できないかった農園です。」

ここでも地域とのつながりを見つけました。

この青空ファームでは今、国が進める農業の働き手不足の解消と障がい者の雇用促進のための「農福連携」として、6名の障がい者を作業者として雇用しています。「素直で前向きな子どもたちばかり。もちろん仕事だし、危険が伴う作業もあるので叱るときはきちんと伝えます。障がいのある子とない子が互い

にプラスになっていて、みんなが一つになって野菜をつくっています。」と高田さん。

子どもたちの食育のために始めた農園ですが、思いもしなかった効果が生まれているとか。全国展開する富士産業には大勢の従業員がいます。そこで五月病や職場の人間関係のストレスで心のバランスを崩した社員の農園研修をここ青空ファームではじめました。自然に向き合い、仲間と共に作物を育てる体験。特に、障がいを抱えながら、黙々と額に汗し土と向き合う作業員の姿に、研修生が多くのものを感じとって、自分の気持ちを立て直してくれているとか。うれしいですね。



「食」とは食べる行為だけじゃない。産地や生産者に思いを馳せ、食材本来の美味しさや旬を味わったり、食事の中の会話を楽しんだり…すべてひつくるめて「食」なんです。人が手間と愛情をかけて育てたものを、また人が口にし、そして感謝する。そんな当たり前で大切なことを教えてくれる「健康」の原点が畑にあります。いつも感謝の気持ちを忘れずに食事を楽しみたいものです。今日もいただきます。そして、ごちそうさま。



食育農園課主任
高田博美さん



関西ブロック担当
山本聡さん



ふじっこ青空ファーム担当
山元滋樹さん

▲写真：大條紘史(編集ボランティア)

ポールウォーク、背筋が伸びると明日がみえる。

草津市老人クラブ連合会事務局／ノルディックウォーク公認指導者

小枝美代子さん(68歳)

朝な夕な、散歩やウォーキングを楽しむ人がたくさんいます。どこかホッとしますね。その中にポールを両手に颯爽と歩く姿を見かけたことはありませんか。これはポールウォーク。ノルディックウォークともいいます。ポールウォークの魅力に会い、普及に力を入れる小枝美代子さんの話をご紹介します。小枝さんは草津市老人クラブ連合会の事務局として17年もの間、高齢者と交流してきました。

始める理由

小枝さんとポールウォークとの出会いは1年前、知人が開催する説明会でのことです。ポールを使うことで右足を左手が、左足には右手が一步サポーターしてくれます。自然と背筋が伸び、歩幅は大きくなり、足の着地もきれい。左右のバランスを保つことで自分の体のゆがみを知り、努力するべき目標がはっきりわかる。股関節や骨盤の痛みに悩んでいる時期でもあった小枝さんはこの出会いに「体中で感動した」そうです。

ノルディックウォーク

北欧で生まれた2本のポールを使ったウォーキング。クロスカントリー選手の夏場のトレーニングとして活用されました。その手軽さと全身運動効果の高いエクササイズとして注目され、世界的に急速に人気が高まっています。

一般社団法人 全日本ノルディック・ウォーク連盟 HPより抜粋

老人クラブに勤める小枝さんは、すぐに交流のある高齢者の皆さんに紹介しましたが、返ってきたのは意外な反応でした。みんなすでにポールウォークの存在もその効果も知っていたのです。「それなら何で始めないの?」。素朴な疑問に「小枝さん

が紹介するなら始めたい」との声が返ってきたとか。そう、高齢者はたとえ関心があっても、いざ使うとなると、そのきつかけや動機づけが欲しかったのです。「そうだったのか」。小枝さんはさっそく指導者としての資格をとり、自宅の一角をサロンに改修。ポールの販売と指導をはじめました。

歳を重ねるといふこと

「老人クラブで働くようになって色々なことを教えてもらいました。高齢者は『賢い人・努力する人』の集まりだと改めて思います」。

老人クラブで得た高齢者との出会いは小枝さんにとってかけがえのない宝物です。

「ポールのすばらしさに自信があっても、それはあくまで私の主観。本当に皆さんにわかっ

てもらえるか、どこか不安がつきまといます。でも、ノルディックのポールをもって高齢者の家をもつて高年齢者の家を回っているうちに、指導する立場ながらも自分自身が高齢者に守られているように感じるんですよ」と小枝さんは言います。

「皆さん、とっても優しいんですよ。指導者の資格は取ったものの、まだ知識も経験も浅い私の言葉を何の疑いもせず信じてくれました。人生の経験が豊かで知識も豊富。人の失敗だつて責めない。そんな高齢者の大きな心に直に触れ、歳を重ねるとはこういうことなんだ」と知ることでできたのもポールウォークのおかげです」

「ちょっと助けてを
言えますか」

高齢者のココロとカラダに寄

草津市老人クラブ連合会事務局
ノルディックウォーク公認指導者
小枝美代子さん



▲イメージ

り添う小枝さん。「高齢者の良さがなかなか見えない社会です。若者の得意なことと高齢者の経験をつまぐつなぐことができれば、もっと心豊かな社会になると信じています。それとね、高齢者が高齢者を支えるしくみも必要だと思っています。それも急がないといけない。もう、大きな問題が目の前までできているのに：そんな気持ちです。『ビンのふたが開けられない』『ダンボールが片づけられない』『古新聞をヒモでくくれない』『そんな』ちよつと助けて、が素直に言え、ご近所さんや、できる人が『するよ』と手をあげる」

小枝さんは朝早くから料理の腕を振ります。仕事の合間をぬって独り暮らしや親しい高齢者に料理やお菓子を届けているのだとか。「スーパーのスイカは独り暮らしの高齢者には大きすぎる」と、スイカを切ってから届ける心配りも小枝流。届けることで、そこでの会話を大切にします。もちろん、実はこんなことで困っているの、って何気ないささやきも聞き逃しません。おいしい手料理と楽しい会話に高齢者からは、採れたて野菜のお返しがあつたりして。「工場で鯛を釣つてますよ。自称『全国物々交換会』会長の心意気で」と朗らかに笑う小枝さん。

モノはココロ

「人はそれぞれに特技があつて、それが誰かの役に立つとなれば自然と元気が出るもの。ちよつとお願ひ」と言い合えるまちなら安心して年を重ねていきます。高齢者同士、同じ時代を生きた者同士が、楽しくゆったりと支えあえる社会はきつと楽しいですよ。このポールウォークが個人の健康づくりだけでなく、そんな会話が生まれるきっかけとなつて、支え合えるまちなりと動きだしたらいいなあ」

高齢者と小枝さんの間を行ったり来たりしているのは、モノではなく、ココロなのでね。「『高齢者、高齢者』なんて言つてるけど、実は私も高齢者。これも高齢者同士が支え合つしぐみのひとつです」

取材後、ポールウォークをちよつと体験。なるほど、手が足をサポートして一歩が出しやす。なにより背筋が伸びて、自然と目線が上がります。いつもより高くなつた目線から見えた景色はいつものまちを明るくしてくれました。うん、気持ちいい。



あなたのまちでも、ガンバっています。

毎日のカレンダーで健康づくり

笠縫東学区まちづくり協議会

笠縫東学区まちづくり協議会では、毎日目にするカレンダーに着目。「健康カレンダー」を作って、学区内に全戸配布しました。1ページに一月分。日ごとのマス目を大きく取り、予定や健康記録などの書込みが自由自在です。健康づくりのための標語や、健康推進員さんが「ぜひ朝食に」と簡単レシピを毎月掲載。裏表紙には学区内のおすすめウォーキングコースをマップにし、休憩できる場所や使用できるトイレも教えてくれます。家族全員の歩いた歩数と距離を月ごとに書き込めるのもうれしい。



「一人でする健康づくりは、長続きさせるのが難しいもの。まちぐるみなら仲間と一緒にできたり、外に出るきっかけにもなります。きっかけづくりがまちづくり協議会の大切な役割。『笠縫東といえば、健康寿命が長いまち』となるようがんばっていきたいです。」

(同協議会事務局長 多々良由利子さん)

あの感動シーンが生まれるまでに。

スポーツトレーナー 浅居健吾さん(くさつ西大路整骨院代表)

スポーツの秋。私たちに感動と勇気をくれる様々なスポーツシーン。特に高校や大学のスポーツでは、その一瞬に胸が熱くなるという人も多いのでは。限られた時間を仲間と共に打ち込んだ姿に、勝ち負けを超えた何かを感じ取るのかもしれない。

監督やコーチとともに、ベンチやフィールドから選手に熱い視線を送る姿があります。選手がベストのコンディションでプレーできるように支えるスポーツトレーナーです。綾羽高校サッカー部をはじめ、大学でもスポーツトレーナーを務める浅居健吾さんです。



スポーツトレーナーという仕事

トレーニングや医療の知識をもち、選手のフィジカル(身体)からメンタルまで総合的にサポートするスポーツトレーナー。浅居さんはサッカー部だった高校時代に、3か月間離脱するケガをしました。その際、スポーツトレーナーのサポートを受けたことをきっかけに、今の道にすすみました。

自分の心と闘う

今では週に1〜2回、サポートする高校や大学の練習に顔を出します。「スポーツトレーナーが職業として確立してきたのは、この10年ぐらい。最近では高校の部活でもスポーツトレーナーを置くところも増えてきました」と浅居さん。

のフィジカルトレーニングやストレッチ指導を行います。遠征先では浅居さんの部屋にマッサージ台を持ち込むので、部員たちのためり場となって賑やかだとか。

スポーツトレーナーの大切な仕事の二つは選手からの相談対応です。「ケガや筋トレ、食事、家の生活についての質問が多いですね。高校生や大学生は経験も知識も未熟で、気持ちもまだ不安定。メンタルな部分が多いため、昨日までできていたことが急にできなくなったり、後で聞くと彼女に振られたなんてこともあります。

特にケガで離脱している部員の心のもちようは深刻。人に言えない不安や焦りと葛藤し、自分の心と闘っています。こんな苦しい

練習ではケガで離脱した部員の別メニューを担当したり、全体の

胸の内を相談できない。だからこそ監督やコーチとは違う立場で身近にいるスポーツトレーナーに心を開いてくれるのかもしれない。『実は膝が痛いけど監督には言わないでほしい。どうしたらいいんだろう』って相談も正直なところあります。」

イマドキ高校生

高校生の話は続きます。「最近の子はドライだとかクールに思われがちですが、意外と素直でまじめ、それに繊細です。大人にとって些細なデキゴトも子どもたちには深刻だったりして、それらを自分の心の中で一生懸命に消化しています。ずっとスマホばかり見ているような時も実はトレーニング法や憧れる選手のプレー動画を観ていたりします」

「スポーツは根性って世代

じゃないので、理屈がないとトレーニングをしない面も正直あります。ただ、理屈や理由さえ納得すれば、今度はものすごい集中を見せてくれます。親御さんにはぜひ、『部活どう?』って、コミュニケーションを取ってあげてほしいですね。大人でもなければ、子ども扱いもされたくない難しい時期のこと、当然、子どもは不愛想な素振りをみせますが、実は嬉しいものなのです。」

高齢者には仲間づくりを

一方、浅居さんが代表を務める整骨院では「腰が痛い・肩が上がらない」といった高齢者のリハビリ、ストレッチ、肩こり改善の指導などを行っています。「整骨院とは名乗っていますが病院と整骨の間」と浅居さんが言うように、ここでは病院のような治療も整体のようなマッサージも行いま

整体のようなマッサージも行いま



スポーツトレーナー
くさつ西大路整骨院代表
浅居健吾さん



せん。整形外科で働いた経験から治療後のリハビリや助言ができる場所の必要性を感じて開業しました。

「でも、ここでの1時間のリハビリより家で過ごす時間の方が大切です。筋肉は使わないと、どんどん痩せていきます。運動量や食べる量も減る高齢者は日ごろの生活の中でも意識して正しい姿勢を心がけること、ストレッチでちよつと体を伸ばすだけでもずいぶん筋力を保てるものです」。

高齢者の運動で難しいのは継続すること。「同じ悩みを持つ人を見つければ一緒に続けることをおススメしています。『今日は寒いから...』とやめる理由はずべてく



れます。続けるための動機づけを見つけておく必要があります。地域には仲間づくりのための場所やきっかけを提供していただくことを期待したいですね。」



「伝える、まちづくり情報誌をつくりたい。毎号、撮影する約1000枚の中から写真を厳選しています。惜しくも掲載できなかった写真の中から、載せたかった『もう1枚』をお届けします。」



直径36cmの的に向かう若武者たち。これは「つくばい」という膝立ちの射法の一瞬です。決まっていますね。一斉に矢が放たれると思いきや、なかなか息を揃えるのは難しい。撮影のために技を披露してくれた草津高校弓道部の皆さん、ありがとう。

「スポーツトレーナーと
なって10年。卒業した部員からの相談やケガをしたOBがリハビリに帰ってくることもあります。中には私と同じスポーツトレーナーの道を歩んでくれた子もいます。」スポーツトレーナーの存在がどれほど選手を支えになっているかがわかります。

私たちに勇氣と感動をくれるあのシーンを、が生まれた陰には、選手
の努力と苦悩、それを支える人たちの存在を知りました。

スポーツをもっと深く楽しめるような気がします。さあ、スポーツの秋がやってきます。



わたしの健康法

「健康法」についてのつぶやき・エピソードを集めてみました。

- 漠然と歩くだけでなく、散歩でもウォーキングでも何か目的を持って歩くようにしている。
- 楽しいこと、好きなことを続けることが健康につながると思う。
- 医者にいわれて健康に気をつけるのは楽しくない。仕事や修行になってしまったら続かない。
- 親からもらった身体をありがたく感じるようになった。
- 歩く距離が伸びただけで、自信がついてくる。
- どこへ行くのも車では足腰が弱ってしまう。便利さに負けないようにしたい。
- ただ歩くだけではつらい。道端の花を見つけては「何の花?」「きれい」と興味や感動を持つことで脳の健康にもつながっていると思う。
- たとえ独りになっても意識して「人と話す」「場に出向く」ことが必要だと思ってる。
- 子どもはいつか巣立って夫婦だけになる。今から妻や夫を大切にしておくことも自分自身の健康の秘訣かも。
- 料理することは健康につながる。材料を選ぶ・段取り・調理・片づけ・ゴミの処理など、頭も身体も使うので脳も元気になる。
- 食べるのが楽しみ。歯は大切だ!

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り上げられる
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。
もしかして…これって、みんなの問題かも。



うっかり

町会長、またやっちゃいましたね。町会長の面倒見の良さと愛すべき失敗談にはいつも癒されますが、健康や身体のことだけは取り返しがつかなくなったら大変、くれぐれも気をつけてくださいね。

さて、「健康」は個人の問題と思われることが多いようです。もちろん、まずは一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という意識をもち、健康管理や生活習慣を改善していくことが大切です。ただ、個人の力だけで健康を維持していくことはなかなか難しいことでもあります。それはあなたも、私も、です。

そこで「まち」の登場です。例えば、ご近所さん同士で声をかけあいウォーキングしたり、町内会や老人会で健康教室や体力測定を企画したりするなど、まちぐるみでの活動が一人ひとりの健康づくりのきっかけや仲間づくり、学びの場となって、楽しく長続きできる健康づくりへとつながります。

また、これはまちにとっても有益です。健康づくりは防犯や防災と並び、住民の皆さんの関心の高いところ。健康づくりと絡めながら、様々な事業を展開することで住民同士のコミュニケーションを深めたり、まちのことを知ってもらうチャンスにもなりそうです。

子どもから高齢者までみんなが元気であれば自ずとまちに活気が生まれるし、まちづくりの担い手も増えていきます。なにより「いつまでも、このまちで暮らしたい」って、まちへの愛着が深まります。そう、元気な人が多いことは、まちの大きな魅力の一つなのです。

これってやっぱり、みんなの問題。



さく・com-com / え・まんじゅう

ひとりで悩まないで！まずはお電話を！
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします

くらしサポートセンターしが草津
くらし何でも相談
TEL:077-564-5512
住所：草津市大路1丁目1-1 TEL:932 4F406

センターへの相談は無料です。

- くらしサポートセンターしが TEL: 077-522-4600
- くらしサポートセンターしが大津 TEL: 077-572-7720
- くらしサポートセンターしが彦根 TEL: 0749-27-3500
- くらしサポートセンターしが近江八幡 TEL: 0748-37-5522

53 株式会社 三井田商事

JR南草津駅前に移転しまして6年目を迎えました。
弊社は京都府下及び滋賀県下でOA機器を販売し、自社でメンテナンスをしております。又、企業一般の方への水の宅配事業も展開しております。弊社も地域と共に発展したいと考え、
土曜出勤日には駅前及び会社周辺の清掃活動を実施しております。
今後も地域に貢献し、共に成長していけるよう日々努力して参りたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津1丁目1-5
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651



より道 こ道



「いつもの道、から
一歩それてみる。
大人にこそ寄り道の
時間が必要だ。」

第10回 ● 志津・青地めぐり

石田 はま子

今回は志津・青地めぐり。志津小学校からのスタートです。学校前の池は「城池」。ここが城の堀であったことが名前からもわかります。青地城は近江源氏佐々木氏の一族・青地氏の居城として、鎌倉から室町まで約300年もの間続いた中世の城。その城址に小学校が建ち

ました。敷地にある2基の碑は、ここが青地城であったことを今に伝えます。

校門へと向かう道では保護樹木となっている3本のクスノキが緑の木陰を落としてくれます。平安時代の「延喜式神名帳」にも名をとどめる由緒ある小槻神社へと続く道にも土塁や空堀が見られます。境内の石垣には背後にある古墳の石材が利用されました。又、

この青地には青地氏の墓がある西方寺、第二の近江聖人といわれた北川静里のお墓がある無量寿寺が建ちます。両寺の駐車場に立つと、草津・帯から栗東の山々まで一望でき、青地氏がこの地に城を築いた理由がわかるような気になってきます。

旧の鳥居は大鳥居町(大津市)から石材を切り出し、大戸川・瀬田川・琵琶湖・伯母川とここまで運ばれたとか。

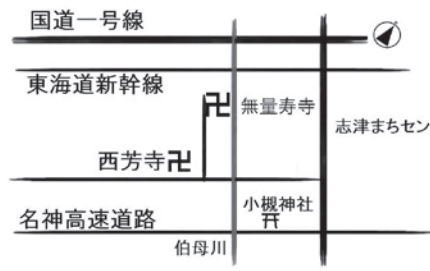
久しぶりとなった今回の青地めぐりでは、志津まちづくり協議会がつくった史跡案内板を各所で見かけました。やはり「自分の町を知る」ことが、まちづくりの第一歩となるようです。

祭神は治山治水・算学の於知別命と学問の天兒屋根命。

於知別命は平安の算学者・小槻山君の祖にあたり、日本数学のルーツと言われている。

於知別命は平安の算学者・小槻山君の祖にあたり、日本数学のルーツと言われている。

伯母川へと進みます。



読売新聞

街の安心、安全、教育、環境を応援していきます。

草津五店会 TEL 077-568-2146

SUMAI

スマイ印刷は、自然環境を守る地球に優しい製品づくり「エコ印刷」に取り組んでいます。

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com

本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045

そのまちに… いくと ICT



ICTがやってきた。

ずいぶんと身近に、わかりやすくなったICT（情報通信技術）。今こそ、あなたのまちのコミュニティに活かすチャンスです。そんな事例を毎回ご紹介します。

グループウェア

いつでも、どこにいても“つながるコミュニティ、!?”

「スケジュールの調整って大変」「紙の資料を減らしたい」「たくさんの案内送付がメンドー」…。メンバーが離れていたり、都合の合う時間がバラバラだったり情報共有するのって意外と大変。そんな時こそICTが便利です。グループウェアは情報共有のためのソフトウェア。有料のものから、無料（インターネット環境が必要）で利用できるものまでタイプも色々。必要な用途や予算と相談してね。

- ・ファイルの共有
- ・メールの一斉送信
- ・会議やイベントの案内や出欠確認
- ・備品や部屋の貸し出し状況 など便利な機能もたくさん



ひとまちキラリ ～まちづくり活動助成～



あなたの一步応援宣言。

自分にできることで、まちや誰かの役に立ちたい。そんな“あなた”の思いに助成します。

募集期間 10月2日(月)～31日(火) 必着

助成期間 平成30年4月から2年間

(ただし2年目は審査で継続が認められた場合のみ)

- 立ち上げ 上限10万円(2年目20万円) 3団体
- 連携・協力 上限20万円(2年目30万円) 1団体

公開ヒアリング 11月25日(土) 9:30～

市立まちづくりセンター ふらっとサロン

約5分間の提案者の発表。ぜひ熱い思いを見に来てください。

問合せ (公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課

草津市西大路町9番6号 ☎565-0477 ☎562-9340 HP <http://kusatsu-spp.net>

マッチを応援してね! -ゆるキャラグランプリ2017-

まち活マッチが今年も「ゆるキャラグランプリ2017」に登場! スマホ・ケータイ・PC・タブレットから毎日投票してマッチを応援してね。

投票期間 11月10日(金)まで

ゆるキャラグランプリ2017 <http://www.yurugp.jp/>



草津アミカホールのお知らせ

草津市草津3丁目13-30 HP <http://amicahall.net>

Percussion × Piano 交錯するハーモニーとビートの響宴

今年のウィークエンドは、パーカッション×ピアノのデュオコンサート!
マリンバ・打楽器奏者の宮本妥子さん&ピアニストの塩見亮さんが初タッグを組んだユニット「Duo-Schlügelzeug」による、ハーモニーとビートが響きあうダイナミックな演奏をお届けします!

9月30日(土) 14:00開演(13:30開場)

出演

Duo-Schlügelzeug

宮本妥子(マリンバ・打楽器)& 塩見亮(ピアノ)

プログラム

- ◆リベルタンゴ ◆アヴェ・マリア
- ◆リバーダンス ◆マトルズダンス ほか

料金

一般 前売 **1,000円**

当日 **1,500円**

高校生以下

前売 **500円**

当日 **800円**

Jazz Festival in AMICA

毎年大好評のジャズの祭典が今年も開催!
立命館大学の学生たちが中心となって、味わい深いジャズの世界をお届けします。

10月7日(土)

13:30開演(13:00開場)

※12:00～市役所前アクアプラザにてウェルカムコンサート

料金

一般 **500円**

大学生以下 **無料**



※どちらもチケットはアミカホール・クレアホール両館窓口にて取り扱っています。

問合せ 草津アートセンター ☎561-6100 ☎561-2493

Next きみたちの草津

次代の草津を担う若い人たちの眼に、ここ「草津」はどのように映っているのでしょうか。見えてくる明日の草津の姿があります。

草津市スポーツ推進員“最年少”

木下弥生さん(34歳)



小3から始めたソフトボールでは全国大会や国体も経験させてもらいました。青春のすべてをかけたソフトから、楽しさ・辛さ、そして感動も教えてもらいました。これも多くの人のサポートがあったから。この感謝の気持ちを何かで恩返ししたくて、今は小学生のソフトボールチームでコーチもさせていただいています。

生まれも育ちも草津です。駅前のにぎやかな所から常盤の農家に嫁ぎました。

同じ草津にいながら、それまで常盤は遠いところだと思っていました。結婚して常盤に住むと自然の豊かさ、特に琵琶湖の近さにびっくり。結婚するまでお米は「買うもの」、今は「作るもの」。夫のつくるお米は最高です。農業が性に合うのか、田んぼの手伝いを楽しんでいます。稲の芽が出て青々と育ち、実るときが何より嬉しい。トラクターに鳥がたくさんついて来るのも、また楽しい。

常盤は地域みんなが知り合いのような近所づきあいも心地いいですね。子どもを通じて親がみんな顔見知りで仲が良いのも自慢です。

ひとり琵琶湖を眺める時間も大好きです。いつの間にか悩みも忘れます。常盤の風景はどこも最高です。週末はぜひ常盤に遊びにきてください。



スポーツの秋・読書の秋・そして食欲の秋…。さわやかな季節、市内の各地で運動会や楽しい行事がメジロ押し。あなたはどんな秋？さて、下のイラストの中にタマはいくつあるかな。

ヒント：タマといっても丸い玉や球ばかりじゃありません。色々なタマを見つけてね。



イラスト：大村恵(編集ボランティア)

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想 を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしております。

※切 9月29日(金) 当日消印有効

宛先 〒525-0037 草津市西大路町9番6号
(公財)草津市コミュニティ事業団「コミュニティくさつ9月号」係
☑ com-com@mx.biwa.ne.jp ☎562-9340

プレゼント

応募いただいた中から、コミュニティ事業団マスコットキャラクター「まち活マッチ」のグッズ(1,000円相当)を5名様にプレゼント。



前回の答え

● 帽子をかぶった人は16人でした。

たくさんのご応募ありがとうございました。

※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で個人情報を使用することはありません。

ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

好きだった給食メニュー

ロクハ公園

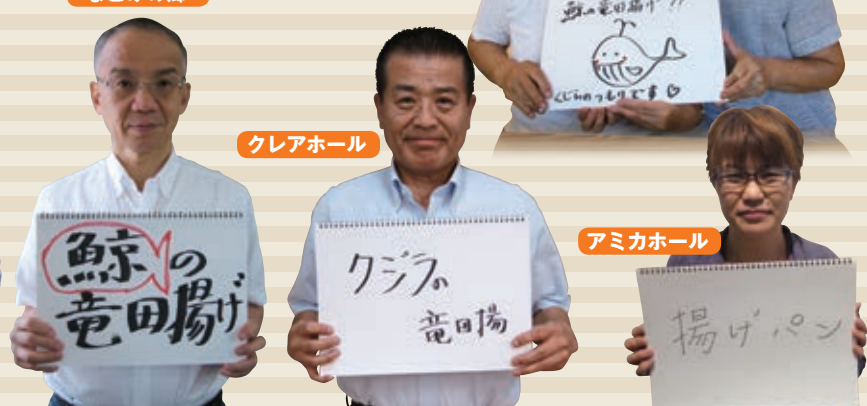
まちセン

なごみの郷

ロクハ荘

クレアホール

アマカホール



熊谷栄三郎の
徒然草津
つれづれくさつ

第26回

どっちの
「ほっこり」?

熊谷栄三郎



方言って、面白い。三十年以上前、青森県の民宿に泊まったときなど、宿の夫婦が何を言っているのか分からず、帰宅してきた中学生の「通訳」でやっと理解できた。

翌日、山道で迷っている外国人に英語で問い掛けられたときの方が話を通して、仲間と笑い合ったものだ。

さらに、方言は面白いだけではない。同じ県内の同じ言葉なのに、なんと反対の意味を持つ場合があるのだ。滋賀県内での「ほっこり」という言葉がそれである。

米原で十年余も前、ある人に聞いた。「ほっこり」という言葉を湖北地方では、疲れたとか、うんざりしたとかの意味で使うというのだ。湖南の草津や京都では逆で、ほっとした、心身が楽だという意味で使う人が多いのに。この話を思い出して、正式に確かめてみよう、湖北のお役所に片っ端から電話で問い合わせしてみた。公務に響かないようにと、お盆休み中に作業をした。いやあ、それが思った以上に難儀な展開

だった。

初めに電話に出てくる職員さんは若い人が多く、見聞が乏しいせいか、たいてい「少々お待ちください。ちょっと問い合わせさせてみます」という応対だった。朝十時前に電話したのに、返事を得たのが夕方だったりした。

疲れた。が、分かった。例えば。伊吹の役所では中年の男性職員が「少し疲れた」という意味。地元で使われています。木之本の役所の男性も同じで、「何度も聞いてますよ」。

うれしかったのは長浜城歴史博物館の女性の「疲れ気味の意味。辞典を調べたのではなく地元での私の見聞です」だった。私も辞典類に頼らぬ確認をこそしたかったのだ。

やはり「ほっこり」は湖北では、草津や京都とは逆の意味で使われているらしい。若者の使用は減っているが、生き延びている。

でも嬉しいような、疲れたような今の私の気分。これはどっちの「ほっこり」なんだ？
えい、とにかく「ほっこり」だ。

読者の声

たくさんのご意見ありがとうございます。

6/15号「まちの安全習慣、元気にいってらっしゃい」に寄せられた感想から

- 飛び出し坊やの記事は大変勉強になりました。保育士として幼児を持つ母として気を引きしめていきたいです。
- パトロールの富樫さん、本当に頭が下がります。子どもたちだけでなく親の私たちにもいつも元気であいさつしてください。私も負けずにあいさつしないと！これからもお元気でいてほしいです。
- 「Next きみたちの草津」を読み、志津南まちづくりセンターに行くときは、職員さんにお声かけしてみようかなあと思いました。
- 3年前に今のところに来ました。草津はあたたかいまち。安心したまちづくりをもっと教えてほしい。
- 私が住むまちでも、「こども110番」やボランティアさんなど、たくさんの家や人々に子どもたちを守っていただき日々感謝です。地域は子どもを育てる大切なコミュニティだと思います。
- あいさつ運動をされている方や、オムロン労働組合の方たちの活動を親としてもありがたく感じます。まち全体で子どもを守っていただいているということに気づかされました。
- 子どもから年配の方まで幅広い情報がありがたい。



「コミュニティくさつ」は、
みんなでつくる
まちづくり情報誌です!

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえ市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身のサークルや団体メンバーに本誌を配布してくれる人



● 申込み・問合せ ●
(公財)草津市コミュニティ事業団
まちづくり振興課内
コミュニティくさつ編集部

広告掲載募集

本誌への広告掲載を希望する団体または企業を募集します。ただし企業の場合は本誌の趣旨を理解した上で、物品やサービスの販売でなく、企業の地域貢献や社会貢献の周知に限ります。

- 1回1枠(名刺サイズ)5,000円
【コミュニティくさつ】
- 約59,500部発行(年4回)
- 市内全戸配布のほか、市内公共施設や銀行等に配架

● 申込み・問合せ ● (公財)草津市コミュニティ事業団 ☎ 565-0477

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費削減などで得る独自の収益金のほか草津市費、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

